

Japanese parturient body mass index and the role in initial nerve block height of women undergoing cesarean delivery with spinal anesthesia

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三好, ふたば メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032808

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 733 号	氏 名	三好 ふたば
審 査 委 員 会	主 査 教 授	藤枝 弘樹	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>帝王切開時の脊髄クモ膜下麻酔において麻酔薬の拡がり (麻酔高) に影響を及ぼす諸要因について検討した後ろ向き研究である。対象を麻酔直後の麻酔高により適切群 (Th6 以上) と不適切群 (Th6 未満) に分けて解析した結果、妊婦の BMI が 23 以下、妊娠週数が 37 週以下、出生体重が 2500 以下で麻酔高が不適切となるリスクが高くなることが示された。欧米では BMI23 以下の妊婦は希少であり、低 BMI が帝王切開時の麻酔効果に影響を及ぼすとする報告はこれまでになく、本研究の意義は大きいと言える。ただし、後ろ向き研究ゆえの限界があり、今後はより対象患者の条件をコントロールした前向き研究の実施が望まれる。論文の背景、方法、結果、考察の記載はいずれも適切であり、審査時の質問にも適切に回答し、本研究の意義と限界を客観的に理解できていると評価した。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			